

45 選抜補給留学生選定に関する件に付官公私立大学等へ通

牒

〔昭和十二年四月〕

(注記1)

官専一七七号	裁	4月21日	文書課長	(有原)	発	4月22日	起案者	(相良)
定	決			(有原)	送			(注記2)

昭和十二年四月二十日起案

事務官 後閱 (清水) (神野)

学務課長 後閱 (有光)

専門学務局長 花押 (伊東)

次官 (河原) (阿原)

普通学務局長 花押 (菊池) (菅原)

実業学務局長 (藤野) (黒)

案

年月日

専門学務局長

各帝国大学、官公私立大学、高等学校、専門学校(実業ヲ含ム)、
 高等師範学校長(各通)

選抜補給留学生選定ニ関スル件

(注記4)

今般昭和十二年度選抜補給留学生選定致度ニ付貴学(校)在学
 中華民國及滿洲国留学生中 学業操行ニ優秀ニシテ特ニ学費ニ窮
 シ留学ノ素心ヲ達シ得ザル者アラバ左記ニ依リ御推薦相成度尚
 右補給生ハ(同)——左記ニ依リ——一応日本語ノ試験ヲ施行シタル
 上選定可致ニ付此段御了承相成度

(下 札)

追テ既ニ外務省宛直接申出相成タル者ニ就テハ此際改メテ御推薦相成様致度為念申添フ

記

一、出願期限 昭和十二年五月三十日迄ニ御推薦ノコト

二、推薦書ニハ左ノ書類添付ノコト

1、本人ノ願書及履歴書（本国ニ於ケル会考ノ合否ヲモ記入セシムルコト）

2、左記各項ニ関スル学校長ノ調査書

イ、学業成績（出来得ル限り詳細）

在^{（加筆）}〔籍〕学校ノ成績無キ時ハ出身校及入学試験成績ヲ添付ノコト

ロ、人物素行

ハ、官公費生（半官費生、補助費生、満鉄補給生ヲ含

ム）

自費生ノ別

自費生ニ非ル者ハ一ヶ月ニ受クル補給生額及其送金状態ヲ明記スルコト

ニ、出席状況並勤惰

ホ、健康状態

3、本人ノ写真 最近撮影セル手札形ノモノ其ノ裏面ニ氏名及生年月日ヲ明記セシムルコト

三、二名以上ヲ推薦スル場合ニハ順位ヲ附スルコト

四、書類ハ文部省専門学務局長宛外務省文化事業部長宛同文ノモノ各一通提出ノコト

五、尚以上各項不備ノ推薦学生ニ関シテハ詮議困難ニ付御了知相成度

六、選定試験ノ要項左ノ如シ

1、試験場

イ、東亜学校 受験者ハ東京、神奈川、静岡、山梨、長野、新潟、栃木、埼玉、群馬、千葉、茨城、富山ノ各府県所在ノ学校在学者

ロ、東北帝国大学 受験者ハ福島、宮城、岩手、秋田、

山形、青森ノ各府県所在ノ学校在学者

ハ、北海道帝国大学 受験者ハ北海道所在ノ学校在学者

ニ、京都帝国大学 受験者ハ岐阜、愛知、滋賀、三重、

京都、石川、福井、奈良、大阪、兵庫、和歌山、香

川、徳島、高知ノ各府県所在ノ学校在学者

ホ、広島文理科大学 受験者ハ岡山、広島、山口、鳥取、

島根、愛媛ノ各府県所在ノ学校在学者

ハ、九州帝国大学 受験者ハ九州各府県所在ノ学校在学者

2、日時

昭和十二年六月十三日午前八時ヨリ午後三時迄

3、試験科目

日本語（作文、書取、和文支那語訳、支那文和訳）

4、受験者心得

イ、携帯品 「ペン」、「インキ」、鉛筆

ロ、試験当日ハ午前八時迄ニ試験場ニ到着スルコト

ハ、受験者ハ一切試験監督員ノ指揮ニ依リ行動スルコト

以上

備考 方法手続昨年度ト同様ナリ

文化一普通第三六一号

昭和十二年四月十六日

外務次官 堀内謙介 印

(注記5)

文部次官 河原春作殿

昭和十二年度選抜補給留学生推薦ニ関スル件

文化事業ニ於テ昭和十二年度選抜補給留学生ヲ選定致度ニ付本邦高等学校、専門学校以上ノ学校ニ在学スル優秀ナル満洲国及中華民國留学生ヲ別紙甲号要領ニ依リ来ル五月三十日迄ニ学校長ヨリ推薦セシメラレ度尚右補給生ハ別紙乙号要領ニ依リ一応日本語ノ試験ヲ施行シタル上選定可致ニ付右御了承ノ上可然御手配相成度此段御依頼申進ス

甲号

選抜補給留学生推薦要領

一、推薦書ニハ左記書類ヲ添付スヘキモノトス

(一)本人ノ願書及履歴書(本国ニ於ケル会考ノ合否ヲモ記入セシムルコト)

(二)左記各目ニ関スル学校長ノ調査書

イ、学業成績(出来得ル限り詳細ナルコト)

在学校ノ成績無キ時ハ出身校及入学試験成績ヲ添附セラレ度

ロ、人物素行

ハ、官公費(半官費生、補助費生、満鉄補給生ヲモ含ム)自費生ノ別

自費生ニ非ルモノハ一ヶ月ニ受クル学費金額ヲ明記ノ

コト

ニ、出席状況並勤惰

ホ、健康状態

(三)本人ノ写真 最近撮影セル手札形ノモノ其ノ裏面ニ氏名及生年月日ヲ明記セシムルコト

二、二名以上ヲ推薦スル場合ニハ順位ヲ附スルコト

三、今日迄直接文化事業部宛申出アリタルモノモ此際改メテ一括申出ツルコト

四、締切ハ五月三十日トス

乙号

選抜補給留学生選定試験要領

一、試験場

(一)東亜学校 受験者ハ東京、神奈川、静岡、山梨、長野、新潟、栃木、埼玉、群馬、千葉、茨城、富山ノ各府県所

在ノ学校在学者

(二)東北帝国大学 受験者ハ福島、宮城、岩手、秋田、山形、青森ノ各県所在ノ学校在学者

(三)北海道帝国大学 受験者ハ北海道所在ノ学校在学者

京都帝国大学 受験者ハ岐阜、愛知、滋賀、三重、京都、

以上

(四)石川、福井、奈良、大阪、兵庫、和歌山、香川、徳島、

高知ノ各府県所在ノ学校在学者

(五)広島文理科大学 受験者ハ岡山、広島、山口、鳥取、島

根、愛媛ノ各県所在ノ学校在学者

(六)九州帝国大学 受験者ハ九州各県所在ノ学校在学者

二、日 時

昭和十二年六月十三日午前八時ヨリ午后三時迄

三、試験科目

日本語(作文、書取、和文支那語訳、支那文和訳)

四、受験者心得

(一)携帯品 「ペン」、「インキ」、鉛筆

(二)試験当日ハ午前八時迄ニ試験場ニ到着スルコト

(三)受験者ハ一切試験監督員ノ指揮ニ依リ行動スルコト

以上

(表紙)

昭和十二年度

選抜補給生志願者名簿(東京受験ノ分)

文化事業部

東亜学校試験場

番号	姓 名	在籍学校
30	焦 盛 泰	〃
29	張 仲 元	〃
28	聶 光 琦	〃
27	呉 葉 盛	〃
26	耿 鴻 烈	〃
25	韓 及 宇	〃
24	張 希 賢	〃
23	殷 明 徳	東京商大
22	裘 啓 宇	〃
21	岑 仲 玥	東京帝大
20	黄 鳴 盛	〃
19	魯 昭 禕	〃
18	王 承 平	〃
17	張 迎 陵	〃
16	夏 道 成	〃
15	周 文 彬	〃
14	郭 衍 賓	〃
13	會 慶 人	〃
12	劉 熾 章	〃
11	尤 炳 圻	〃
10	鄺 炯 桑	東京帝大
9	楊 崇 勳	同
8	莫 國 萬	同
7	李 龍 啟	同
6	姜 季 辛	同
5	梁 溥 溥	同
4	凌 健 雄	同
3	曲 澤 洲	同
2	畢 相 輝	同
1	傅 俊 儀	東京帝大

63 62 61 60 59 58 57 56 55 54 53 52 51 50 49 48 47 46 45 44 43 42 41 40 39 38 37 36 35 34 33 32 31

易 陳 彭 李 孫 韓 李 諸 陳 莊 陳 江 邢 顧 石 米 方 王 洪 態 梁 李 王 丁 程 吳 陳 王 戴 關 任 傳 徐
希 文 租 彭 樹 永 尚 爾 熙 爾 宏 芙 平 家 國 孝 兆 瑞 心 學 應 文 樂 東 必 希 倍 醒 明 重 士 厚
道 畹 鴻 隆 年 錚 雄 維 活 明 康 俊 初 準 騏 鈞 慈 新 楫 麟 熹 時 光 貴 遠 昌 聲 義 亞 倫 遠 鄉 善

東京文理大

東京工大

東京工大
千葉医大

東京商大

96 95 94 93 92 91 90 89 88 87 86 85 84 83 82 81 80 79 78 77 76 75 74 73 72 71 70 69 68 67 66 65 64

曹 賴 冷 林 金 羅 顧 鄭 陳 吳 奚 湯 石 周 劉 鄭 蔣 孫 許 鄭 何 温 徐 潘 李 趙 張 田 劉 林 區 黄 周
一 果 廷 大 郁 清 光 則 文 培 修 吉 傑 貴 天 乃 采 丙 祥 天 文 鴻 克 興 耀 桂 振 穎 偉 開 相
儀 成 腸 琦 庸 增 芳 琦 常 輝 文 猷 成 銘 福 麟 鍊 蘋 松 鼎 霽 華 垌 志 勤 權 先 林 瀛 幹 乾 蔭 文

早大

早大
慶大

東京高師
東京高師

文部省専門学務局長 伊東延吉殿

客月二十二日付官專一七七号ヲ以テ選抜補給留學生選定ニ関シ
御照会ノ件了承左ノ者ハ何レモ選抜補給留學生トシテ適當ノ者
ニ付推薦ノ上別紙一件書類取纏メ送付候ニ付可然御配慮相煩度
候

記

医学部 (各頭書ノ数字ハ推薦順位)

1 昭和十一年入学専攻生

林 伯 輝

2 同

洗 瑞 鋌

工学部

昭和十年入学治金学科学生

沙 螢

農学部

1 昭和九年入学専攻生

蔣 周 慶

2 同十一年入学専攻生

蕭 位 賢

法文学部

試験施行 昭和十一年入学専攻生

于 天 民

セザルニツ

同

陳 丹 明

キ順位附シ

難シ 同十二年入学専攻生

范 銘 盤

(注記1)

〔至急〕

(注記2)

〔71〕

(注記3)

〔記録掛 27・8・18 受領〕

(注記4)

〔三〕(簿冊内件名番号)

(注記5)

〔文部省 官專177号 昭和12・4・17〕

(注記6)

〔急〕

(注記7)

〔文部省 官專177号 昭和12・5・31〕

(下札)

〔破損〕

〔自昭9年11月至昭22年4月 外国人留学
生 第1冊〕 文部省 3A, 32-6, 2458〕